

名医が選んだ「婦人科がん」で頼れる病院

所在地	病院名(診療科)	特徴
北海道 札幌市	北海道大学病院 (婦人科)	医師と看護スタッフ、病棟専属の薬剤師がチームを組んで、患者に寄り添う医療を目指している。'24年は年間889名の入院治療、364件の手術実績がある。
岩手県 矢巾町	岩手医科大学附属病院 (産婦人科)	悪性疾患を多く診療しており、東北地方の大学病院では有数の年200件の婦人科がんの手術実績がある。腹腔鏡やロボット手術にも積極的で、近年は合わせて150件以上を占めている。
東京都 新宿区	東京女子医科大学病院 (婦人科)	「腫瘍」「更年期/老年期」「内分泌/不妊」「周産期」の4つの分野を柱として、各々の専門外来を設置しており、それぞれの専門医が診療に当たっている。
東京都 新宿区	慶應義塾大学病院 (婦人科)	日本婦人科腫瘍学会の婦人科腫瘍専門医が10名在籍していることに加え、腹腔鏡技術認定医が8名、ロボット手術執刀資格医が10名在籍。一部悪性疾患でも腹腔鏡・ロボット手術を適応し、患者負担の少ない治療に取り組んでいる。
東京都 江東区	がん研有明病院 (婦人科)	'24年の婦人科手術件数は1205件。蓄積された経験とデータを裏付けに、手術・化学療法・放射線療法などを組み合わせる集学的治療で、患者に最適な治療方針を提供する。
静岡県 駿東郡長泉町	静岡県立静岡がんセンター (婦人科)	基本はもっとも効果が期待できる標準治療を行うが、患者の希望に寄り添い、個々人に最適な治療方針を検討する。'24年の婦人科悪性腫瘍総手術数は379件と国内有数の実績。
京都府 京都市	京都大学医学部附属病院 (婦人科腫瘍ユニット)	体に負担が少ない低侵襲手術を積極的に行い、早期退院・早期社会復帰支援と、妊孕能・排泄機能に配慮した機能温存治療・手術に取り組んでいる。
岡山県 倉敷市	倉敷成人病センター (婦人科)	全国に先駆け'90年代から婦人科疾患に腹腔鏡手術、'13年からロボット手術を導入。世界トップレベルの技術と、日本で1、2位を争う腹腔鏡手術件数を有する。
愛媛県 松山市	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター (婦人科)	年間約250件の手術をしており、腹腔鏡手術だけでなく'18年からはロボット手術も実施。薬物療法の治療にも積極的に取り組んでおり、最新の治療を提供できるよう努めている。
鹿児島県 鹿児島市	鹿児島大学病院 (産科、婦人科)	'23年度の婦人科手術件数は516件、うち49%が腹腔鏡もしくはロボット手術。特にロボット手術では保険未収載の高難度術式も私費臨床試験として提供し、国内他施設からも多くの医師が研修に來ている。

●協力いただいた全国の名医(婦人科がん) 安藤正明医師(倉敷成人病センター・理事長/ロボット先端手術センター長/婦人科主任部長)、伊藤公彦医師(関西ろうさい病院・副院長/産婦人科)、杉山徹医師(社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院・上席補佐)、田畑務医師(東京女子医科大学・産婦人科/主任教授)、平嶋泰之医師(静岡県立静岡がんセンター・地域医療連携室長兼婦人科診療部長)、舟本寛医師(東京女子医科大学・産婦人科客員教授)、匿名回答1名